

B 個別学習（B 1）

主な学習活動

自分の制作したいものをデータで探したり、写真に撮り、実物大に絵をスケッチしよう。

1 本時のねらい

タブレットの撮った写真から、実物大にスケッチすることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

タブレット

3 参考にしてほしいポイント

好きなデータを探せるところや自分で持参したものをデータで残しておくことができるメリットがある。タブレットから色やものもイメージに合わせて変化させることができる。また、拡大することも可能で、細かなところまで見ることができる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
導入 展開	自分のイメージにあわせデータを探し、制作する実物大にスケッチする。	タブレットで撮った写真に自分のイメージを重ねてを変化させる。その色を再現して描く。

タブレット



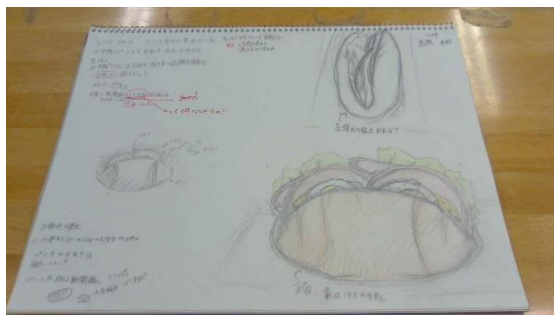
二つを合体させてみた

色が物足りないな。

具材で
イメージ
が変化



具材の色
で見た目が
変わる。



4 活用効果

写真は常に同じ状況で保つことができる。また、自分がなかなか見ることのない視点での作品が可能となる。本人の作品イメージできる限り近づけられるよう、様々な画像が検索できることでよりリアルな作品作りにつながる。